

COPD(慢性閉塞性肺疾患)対策

第1 現状(これまでの成果)と課題

1 COPD(慢性閉塞性肺疾患)の有病率及び患者数等

- 推計患者数に占める受診者数が約5%であり、大多数が未診断・未治療と考えられます。

【表1】 COPD(慢性閉塞性肺疾患)有病率及び患者数等(全国)

有病率	推計患者数	総患者数
8.6% (40歳以上)	530万人	37万9000人 (令和2年患者調査)

(NICE study, the Nippon COPD Epidemiology study 2001)

2 COPD(慢性閉塞性肺疾患)の総患者数

- 本県の総患者数は概ね横ばいです。

【表2】 COPD(慢性閉塞性肺疾患)の総患者数 (単位:千人)

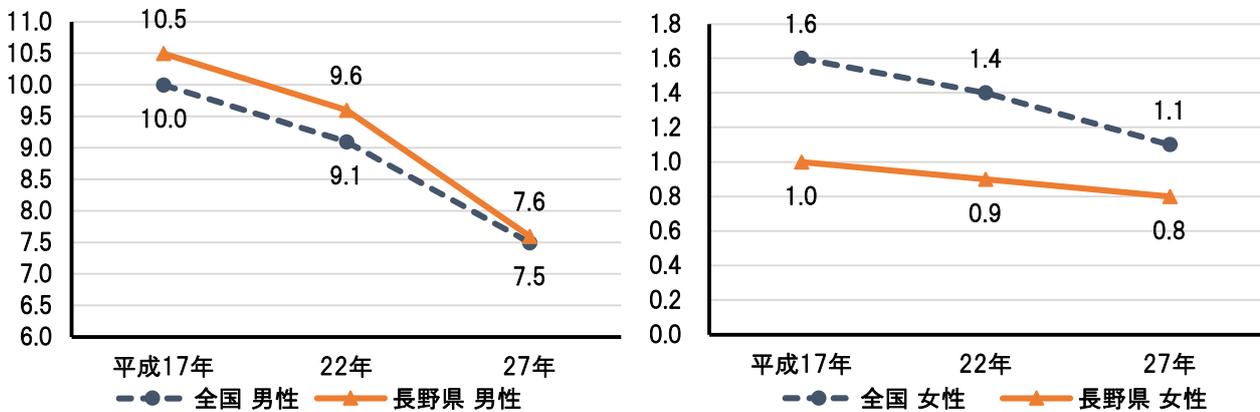
区分		平成23年	26年	29年	令和2年
全国	男	169	198	161	269
	女	98	101	79	111
	計	267	299	240	379
長野県	男	4	4	3	6
	女	2	1	1	0
	計	6	5	3	6

(厚生労働省「患者調査」)

3 COPD(慢性閉塞性肺疾患)による死亡

- 年齢調整死亡率は男女ともに低下傾向にあります。

【図1】 COPD(慢性閉塞性肺疾患)による年齢調整死亡率(人口10万対)



(厚生労働省「人口動態統計特殊報告」)

4 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度

- COPD は認知度の低さが課題となっています。全国的な調査では、令和4年の COPD 認知度は 34.6%となっています。
- 長野県の COPD 認知度は令和元年度県民健康・栄養調査の結果では、26.3%となっています。

【図2】COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度



(厚生労働省「健康日本 21（第2次）」)